



STOP THE 格差社会! 全道キャラバン通信

NO.14 2013.6.16 発行責任者 連合北海道組織労働局

アンカーの石狩地協では管内5市(江別、北広島、恵庭、千歳、札幌)を訪問 民主党女性議員とのタッグで街頭演説を実施

14日(金)の江別市役所別館前を皮切りに、北広島市、恵庭市、千歳市で街頭演説を行い、15日(土)は朝から札幌市内数カ所で街頭演説しながら市内を走行し、最終日の16日(日)朝は手稲駅前で街頭演説を実施した。

14日(金)は雨の中、江別の赤坂伸一市議らが、非正規労働者の給料に大きく影響する最低賃金の大幅引き上げや、お金を払ってクビにできるような解雇の金銭解決制度の導入反対などを訴えた。

15日(土)は民主党北海道女性議員の「子どもたちの未来を守ろう」の全道キャラバンとタッグを組み、須田道議(手稲区)、三宅市議(南区)、篠田市議(東区)、村上市議(中央区)、植松市議(豊平区)が代わる代わるにマイクを握った。

雨の大通公園での演説の後、地下鉄栄町に着くと雨が上がり日も差す中、安倍政権はここに来て「国民の年収を150万円上げる」と言っているが、根拠が不明確である。一方でアベノミクスの株価利益は投機目的の外国人投資家に流れている。働く仲間が安心して働いて行ける社会の実現が求められていること。子供達の未来を守るために貧困の連鎖を断ち切らなくてはならない。親の所得に関わらず全員の高校授業料の無償化が、所得制限を設けることで、子供達の中にいじめや差別を生み格差につながりかねない危険性などを訴えた。

この後、地下鉄琴似駅前、南平岸駅、真駒内駅、福住駅を周り、道行く市民にアベノミクスのもろさと、子どもたちの未来のためにも、今こそ安心して働ける社会の実現に力を尽くすことを訴えた。

16日(日)の朝は、小野市議が民主党ていね前で、働いて暮らしていける最低賃金制度の実現に向けて政労使合意の全国最低時給800円を目指す事などを訴え、手稲前田などで街頭演説を繰り返し、大通11丁目の到着集会へ向い、3日間で走行距離は311kmとなった。



江別でマイクを持つ赤坂市議と内山市議(左)



雨の大通公園で
左から 植松市議、須田道議、
マイクを握る篠田市議、
三宅市議、村上市議のみなさん



地下鉄琴似駅では
駆けつけた中村市議も応援



民主党 ていね前で
格差是正、最賃の引き上げを訴える
小野市議(手稲区)



残りわずかな全道キャラバン
次へ向かいます!